

わたしの 妊娠報告書

記載日 年 月 日

おめでた宣言日	2017年 12月
年齢 (37) 歳	平成 (21) 年 (2) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (4) ヶ月
他院での治療歴	(なし) あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 () 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

通院前の妊活中、毎月妊娠判定に期待しては大きなショックを受けてつらかった。と、とにかく治療に過度に期待しないで気長に取り組もうと自分に言い聞かせていました。スタッフの皆さんにお任せしてどんと構えていられたのがストレスをためないことにつながったと思います。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

体外受精の採卵においてたくさんの薬を服用したり、自己注射をしたりというのが思った以上にストレスでした。薬の副作用で通勤電車で吐き気におそわれたときは薬を服用するのが怖くなってしまいました。

その他（通院・治療費・家族など）

治療と主人の単身赴任が重なったため月に何度も帰ってきてもらわないといけなかったのが大変でした。私自身も仕事をしているので夜遅い時間しか通院できず「帰宅時間が遅くなってしまうのがしんどかったです。

治療中の方へのアドバイス

治療が思うようにいかないこともありましたが焦らないでじっくり構えておくこと、気持ちの切り換えの方法（私の場合は 外食やお酒でした）を持っておくこと。そうすることで毎回前向きな気持ちで治療に取り組めると思っています。

スタッフへのご意見など

スタッフの皆さんの あたたかい雰囲気 がありがたかったです。先の見えない治療を続けていく不安が やわらぎました。受精卵を「タマゴちゃん」と呼んでくれたときは自分の赤ちゃんをおなかに入れてくれるような気かしてうれしかったです。私たちのタマゴちゃんを大切に育て、赤ちゃんとして授けて下さって ありがとうございます。